

国指定重要文化財  
会津さざえ堂

しょうそうじ えんつうさんそうどう  
(旧正宗寺・円通三匠堂)



寛政8年(1796)郁堂和尚が考案建立したもので六角3層高さ約16米、昇降別々のらせん形通路により階段がなく一方通行で上下するという日本唯一、世界にも例のない名建築とされている。

昔は三十三観音を安置したが明治以降は皇朝二十四孝(会津藩道德教本)の絵額を掲げている。

福島県会津若松市一箕町飯盛山  
白虎隊墓所西北側60米

<http://www.sazaedo.jp>

SAZAEDŌ (Sansōdō)  
Sansō-dō, former Shōsō-ji  
Buddhist Temple  
(Aizu-Wakamatsu-City 1796).  
The thirty three figures of  
Kannon, Avalokitesvara, were  
installed in the core, around  
which two ramps come up from  
both front and rear entrances  
and are united at the top after  
making two revolutions.

国指定重要文化財

会津さざえ堂

— 年中無休 —

営業時間 午前8時15分～日没まで  
(12月～3月) 午前9時～午後4時まで

拝観料	大人	400円
	大学・高校生	300円
	小・中学生	200円

奥州会津飯盛山旧正宗寺継跡  
有限会社 山主飯盛本店

Tel 0242-22-3163 Fax 0242-25-3419



さざえ堂とは

—大日本百科事典(ジャポニカ)項目から—

三匠(そう)堂ともいい秩父三十四所、東国三十三所、西国三十三所の観音札所の本尊を写して一堂に集めた巡礼観音堂であり、**通常三階造りの堂内**をぐるぐる回つて上ってゆくところから俗にさざえ堂と称された。

江戸本所の羅漢寺に1780年(安永9)に建てられたのが最初で北斎や広重の錦絵にも名所として描かれた。関東にはこれに模したものが数ヶ所見られ、当時観音信仰が盛んであったことがわかる。ただし**会津飯盛山旧正宗寺のさざえ堂**は特殊な例で1796年(寛政8)僧郁堂が考案建造、六角塔状の建物の中心部に西国三十三観音像を二つの螺旋状スロープに沿って配置した。つまり正面から上りスロープを参拝しながら頂上に至り、別の下りスロープに移って続いて巡拝しながら裏口に降りるようになっているもので、このような建築は世界にも例を見ない独特なものである。

(執筆者 日本大学理工学部教授小林文次博士)

- JR会津若松駅前からまちなか周遊バス「あかべえ」で約5分「飯盛山下」下車、徒歩5分
- 磐越自動車道：会津若松ICより約15分



# 会津飯盛山

